

町会長連合会だより

からこ

唐沢山…藤原秀郷公の居城跡で、深い歴史を持つ山

令和3年9月1日

第25号

発行 佐野市町会長連合会
編集 会報編集部会

連合会、新型コロナウイルス感染症対策事業を実施! ～連合会と町会、一丸となって乗り切るコロナ禍～



手指消毒用スプレ어의配布

新型コロナウイルス感染症対策として、4月に町会長連合会から全町会に手指消毒用スプレー5201本を配布しました。これは、町会長や班長の皆さまが、市の広報紙配布作業をはじめ、町会の地域情報活動において、新型コロナウイルス感染症防止の一助となるよう、お渡ししました。

また、5月からは、町会において新型コロナウイルス感染症対策のため購入した物資について、町会長連合会から補助金を交付しています。この補助金は、コロナ禍においても町会活動を維持していくため活用されています。

今後町会長連合会と町会が一体となって、依然として収束の見えないコロナ禍を乗り切ることが求められています。

手指消毒用スプレ어의活用について

下秋山町会 戸叶光一町会長談

下秋山町会では、手指消毒用スプレーを広報紙配布における一連の作業において活用しています。

安心して広報紙が配れるようになったので助かっています。また、マ

スクをしているだけでは新型コロナウイルスの感染対策としては不十分であり、スプレーによる手指消毒をはじめ、日常生活において、細かい所まで消毒する習慣をつけることが必要です。現在、町会長連合会で申請を受け付けている、感染対策の物資購入に対する補助金を利用しつつ、町会活動における感染予防対策をいっそう進めていきます。

新型コロナウイルスワクチン集団接種開始

佐野市では令和3年5月29日から、集団接種会場を佐野市役所、田沼中央公民館に設置し、新型コロナウイルスワクチンの集団接種を開始しました。

7月には新たな会場にイオンタウン佐野（浅沼町）を追加し、12月中旬までに希望する市民に接種を完了させることを目標に、国からのワクチン供給状況を踏まえながら、可能な限りの早期接種を進めています。



予診票確認

四期目就任にあたって

佐野市町会長連合会 上岡良雄会長談



この度四期目の会長に就任しました浅沼町

町会長の上

岡です。会長職六年間、町会長の皆さまにはご理解とご協力をいただき、その職責を全うできました。事に對し、心から御礼申し上げます。時代の変遷とともに町会運営も過渡期を迎え、責任の重さを痛感しております。

昨年からのコロナ禍により日常生活や経済活動に多大な影響があり、今なお収束の見えない状況が続いております。感染予防対策にご尽力いただいております。町会長の皆さまに改めて感謝申し上げます。

ご周知の通り、町会は住民の代表格を有する組織として安全で安心な住みよいまちづくりの構築と地域住民福祉の向上を目指し運営しております。また、行政の協力機関として市民とのパイプ役を担う重要な役割を果た

しております。直面する課題は、住民たちの知恵で解決するなど相互協力の底力も備えております。

町会の現状は、人口減少、高齢化の進行により難しい運営を強いられております。町会未加入の問題をはじめ、役員確保、行政からの課題の委譲など地域負担が膨らむ事が予想されます。一方で、限界集落の出現により統合再編などの必要性もでてきており、課題は山積みしております。

連合会運営については、経験を通じて培ったノウハウを礎として職責を果たしてまいりたいと考えておりますので、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、町会長の皆さまには多難な町会運営を強いられながらも、健康にご留意の上、英知を発揮され活躍されますことを祈念申し上げます、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

連合会副会長・会計紹介



副会長 (原町町会長) 倉持 勇

上岡会長の就任以来六年間、微力ではありますが副会長として協力し、連合会活動をしてまいりました。令和3、4年度の任期の間、連合会活動に邁進してまいります。



副会長 (若松町(城東)町会長) 厚木 健志

町会長になり早くも十年目。過疎化の進む町会に五年、十年先を考え運営してまいりました。町会は時代に合わせ変化する必要があると考え日々町会運営を行っております。



副会長 (山菅町町会長) 関根 誠一

佐野市町会長連合会副会長の関根誠一と申します。町会長は初めてであり、また連合会副会長という重責を担うことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。



会計 (若宮上町町会長) 塚田 芳夫

若宮上町町会長の塚田芳夫です。新型コロナウイルスの長雨でも、伸び続ける雑草を相手にまた、植野たすけあいのボランティア活動に寸暇を惜しんで、枯れないよう日々を送っています。

町会長連合会 令和2年度の事業報告

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で次の事業が中止になりました。

- 新春祝賀会・表彰
- 全市一斉清掃
- 視察研修
- 地域づくり検討部会
- 町会長研修会

町会長連合会 令和3年度の主な事業

◆地域課題の解決

「地域づくり検討部会」において、地域における課題や今後の検討事項について、行政と連携して課題の解決に取り組めます。



◆会報の作成

市民の皆さまに、町会に関する情報をお知らせするため、「会報編集部」で会報誌を作成し、年2回発行いたします。

◆行政と町会について

行政と町会との協働体制がとれるように、各行政機関及び地域担当職員*と共に課題に取り組んでまいります。

◆その他

- 永年表彰
- 福祉、教育、文化団体の会議などへの参画
- 栃木県自治会連合会事業への参画
- 市が主催する各種事業への参画



*地域担当職員とは、市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、地域に配置された市職員をいいます。

葛生義務教育学校設立 に向けた進捗状況

佐野市教育委員会教育総務部
学校管理課

佐野市立葛生義務教育学校は、あそ野学園義務教育学校に続く市内2校目の小中一貫校として、令和5年4月の開校に向け、準備が進められています。学校施設については、葛生中学校の施設を一部新増築し、長寿命化改修を施します。完成は令和3年度中になる見込みです。

学校名・校章・校旗・校章旗は既に決まっております。現在は校歌の制作が進められております。制作を依頼しているのは、作詞家の売野雅勇さんと、作曲家の中西圭三さんという、数々のヒット曲を生み出してきたお二人です。

また、通学に関することや地域の連携などについては、関係者さまのご協力のもと引き続き、協議を進めていきます。

次に、葛生義務教育学校における新教科を含む教育内容についても、多くの教職員により検討がなされている状況です。

今後とも開校に向け、関係の皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いたします。



▲校舎パース



▲校章



地域みんなでこれからも元気に過ごすために

－ 関川町会でのハツラツ体操実施事例 －

佐野市健康医療部 いきいき高齢課
佐野市ハツラツ元気体操について

佐野市では、住み慣れた地域で元気に暮らすことを目的に「ハツラツ元気体操」を広めています。関川町会では、現在3年目を迎えています。

活動のしくみ

令和3年7月現在、新型コロナウイルス感染症状況を注視しつつ、受付時の体温チェックや手指消毒、物品の消毒など、役員を中心に参加者みんなで感染予防対策をして、活動しています。

今年1月の緊急事態宣言を受け、一時的に活動を自粛していましたが、再開後、参加者からは「体を動かして体力が戻った」、「地域みんなでやると楽しい」などの声が聞かれました。

これからの活動のしくみ

活動の継続については、新型コロナウイルス感染症状況を踏まえながら判断をしていくこととなりますが、実施する場合は、安心して参加していただけるように、感染予防対策を徹底しながら、行っていききたいと思います。

ハツラツ元気体操 新規団体の紹介

「犬伏上町」が新たに活動をスタートしました。新型コロナウイルス感染症の流行前から試験的に実施し、地域の方々との協力し、活動を開始することができました。



町会へ加入しましょう！

町会は住民の皆さまと共に災害時の対応、隣近所との絆づくり、いざという時の相互扶助など地域のために様々な活動を行っています。町会活動に対してご理解をいただき、積極的に参加しましょう。



町会は地域において様々な活動を担っています！

- 安全・安心な暮らしを守る活動
自主防犯パトロール、自主防災組織、防犯灯の維持管理、交通安全活動など
- 親睦活動
お祭りの開催や、子ども会、敬老会への協力など
- 地域環境美化活動
清掃活動、ごみ集積所の維持管理など
- 地域情報活動
回覧板や広報の配布による地域の情報伝達など
- 地域福祉活動
子どもや高齢者の見守り活動など

身近な公民館を目指して

石塚町(上)町会
町会長 島田 俊夫

旧公民館は昭和34年に建築されたもので築60年を超えていたため、診断で「地震の時には近づかないように」と言われていました。

そのようなことから、令和2年10月に解体し、同月末に着工、翌令和3年3月に竣工式を行い、無事建て替えとなったものです。

この公民館は集会所としての機能に加えて、夏祭りや軽い運動など日常的に会員に使っていただけるよう設計したことが特徴です。

曲折もありました。令和元年10月25日に佐野市に事業計画書と自治公民館整備資金補助金交付申請書を提出しましたが、令和元年10月12日の台風19号の影響



▲旧公民館



▲新公民館

で一時中断しました。その後、令和2年9月に市が補正予算を組んでくださり、令和2年度中の完成に向けて再始動しました。

公民館の建設にあたっては建設委員会を立ち上げ、建設内容の検討や寄付金の募集を行いました。



▲竣工式



石塚町(上)町会

上町西町会のデジタル化

上町西町会
町会長 柴崎 幸治

政府のデジタル化の推進もあり、上町西町会では4月からLINE公式アカウントをスタートさせました。これにより回覧の内容、防災情報等を迅速に会員へ届けることができます。

LINEの活用により、回覧の遅延や、回し読みに伴う新型コロナウイルスの感染リスクの問題も解決でき、また町会の活動状況を写真として添付し、目に見える形にすることで、会員の町会に対する理解をいっそう深めることもできています。

ランニングコストがほとんどかからない点も町会にとってうれしいところです。スタートから3カ月経った7月時点で、会員数を215名までのばすことができました。また先日行ったリサーチでは回答した会員の9割から良い評価を得ることができています。今後も、従来の回覧板も残しつつ、町会のデジタル化を積極的に進めます。



上町西町会

赤坂町会ホームページ「そよ風」の紹介

赤坂町会
町会長 齋藤 武男

当町会では6年前から、広報活動の一環としてホームページ「そよ風」を公開しております。

内容は、その都度の連絡事項、月初めの回覧物、年間行事、部や各団体の紹介、町会規約、届出書等の公開です。コロナ禍の現在、感染リスクを回避して情報を伝えることができるという点で、町会ホームページは大きな役割を果たしています。

当面の課題として、容量の関係で写真枚数の提供や記事が増やせない等サーバの問題や、必要で興味を引く情報を伝達することで、閲覧率を向上させることがあります。

今後は、行政からの要請や行事予定、防災情報の充実を図っていきたいと考えております。



赤坂町会

編集後記

◆昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、当連合会の各種行事の中止が相次ぎました。現在はワクチン接種が始まり、今後は実施されていくことが期待できますが、ウイルスの収束の見通しについては、いまだ予測不可能です。気を付けて生活をするように心掛けましょう。

◆今年度は役員改選もあり、ご案内の通りの皆さまが選出されました。よろしく願います。

◆また感染症対策事業も継続されており、各町会には補助金の有効活用をお願いします。

◆町会の活動状況等やご意見・感想を事務局へご連絡いただければ幸いです。「からさわ」25号が皆さまのお手元に届く頃には、安全安心が戻っています事を祈念しております。

(齋藤記)

発行 者 佐野市町会長連合会

〒307-1601 栃木県佐野市高砂町1番地

佐野市役所

〒02883-2013 81-2

発行責任者 齋藤 武男
編集部長 白澤 義久
編集部会長 久村 純二
編集部委員 三村 和夫
戸叶 光一
塚田 芳夫

アドバイザー

片柳 孝夫
齋川 春義
関根 誠一

佐野市町会長連合会は佐野市の全ての町会で組織されています。